

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	小児看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学 期	前期	教室名	2年生教室
担 当 教 員	日下部 麻美	実務経験と その関連資格	看護師として重症心身障がい者病棟・養護学校で勤務していた。			
《授業科目における学習内容》						
子どもを発達していく存在としてとらえ、子どもが家族・社会の中で健やかに成長・発達を遂げ、健康に生活する権利を理解する。そのうえで、子どもと家族の健康を支えるための小児看護の役割について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 80%、提出物 20% ※詳細は第1回授業で提示します。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院(概論すべて、臨床総論第1・2章) 参考書: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院						
《授業外における学習方法》						
次回授業の予習プリントがある場合は、授業の最後にプリントを配布しますので、教科書を参考にして空欄を埋めてから授業に臨んでください。						
《履修に当たっての留意点》						
予習プリントは授業で使用しますので持参してください。配布プリントはファイルに閉じ、演習や実習で活用できるようにしておきましょう。楽しんで積極的に参加しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	小児看護の特徴と理念について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 概論第1章を読む(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	小児看護の特徴と理念① 小児看護の対象、小児看護の目標・役割			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児看護の特徴と理念について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 概論第1章を読む(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	小児看護の特徴と理念② 小児と家族の諸統計、小児看護の変遷、 小児看護における倫理・課題			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの成長・発達について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 概論第2章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)	
		各コマにおける授業予定	子どもの成長・発達 成長・発達とは(発達理論) 成長・発達の進み方と評価			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 概論第3章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習: 授業の復習(10分)、	
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護①: 新生児			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 概論第4章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習: 発表準備(30~60分)	
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護②: 乳児			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第4章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護②:乳児		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児期の特徴について述べるができる。 幼児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第5章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護③:幼児		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	幼児期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第5章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護③:幼児		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	学童期の特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第5章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護④:学童		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	思春期・青年期のの特徴について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:概論第6章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	各期の子どもの成長・発達と看護⑤:思春期・青年期		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	家族の特徴とアセスメントについて述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第7章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	家族の特徴とアセスメント		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	子どもと家族を取り巻く社会について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:概論第7章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもと家族を取り巻く社会		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	病気・障害を持つ子どもと家族の看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第1章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(10分)、発表準備(30~60分)
		各コマにおける授業予定	病気・障害を持つ子どもと家族の看護		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	入院中、外来時の子どもの特徴と看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第2章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護①:入院中、外来		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	在宅療養、災害時の子どもの特徴と看護について述べるができる。 既習した内容を想起することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:臨床総論第2章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護②:在宅療養、災害時 まとめ		